

急結性高性能止水モルタル

エレホン #300

コンクリートの亀裂、打継ぎ部の漏水、吹き出し、流出部を瞬時に止水！

特長

- ▶ **多用途** 接着力に優れた緻密な止水モルタルです。収縮キレツがないので、止水の他に土木、建築及び石材工事等に広い用途があります。
- ▶ **利便性** 少量の水を加え、素早く練り合わせることで、粘着性の高いモルタルになります。
- ▶ **急結性** 1Mは約60秒で急激に硬化を開始するので、漏水箇所を速やかに塞ぐことができます。

#300の種類と用途

種類	凝結時間	主な用途
#300 S	20秒～1分	低温時における、#300 1Mと同じ目的に使用
#300 1M	1分～2分	地下水、上下水道、トンネル、構造物のキレツ、ジャンカ、打継ぎ、カルバートのジョイントなどからの漏水箇所の補修。 金属接合部からの漏水箇所及び船舶の漏水箇所の仮補修。
#300 5M	2分～15分	コンクリート二次製品のコーナー補修及び石積ブロック、ヒューム管、コンクリートセグメントの破損箇所の補修。
#300 10M	5分～30分	支柱などの固定、アンカーボルト、鉄ポール、カーポートの支柱、門扉、フェンスの柱の早期固定・補強。

● 荷姿

S	20 kg缶	(5 kg × 4袋)
1M	20 kg缶	(5 kg × 4袋)
1M ハーフ	10 kg缶	(5 kg × 2袋)
1M 小袋	18 kgケース	(3 kg × 6袋)
5M	20 kg缶	(5 kg × 4袋)
10M	20 kg缶	(5 kg × 4袋)



20 kg 缶



10 kg 缶 (ハーフ缶)

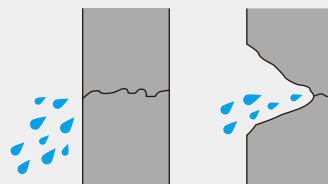


18 kg ケース (小袋)

施工要領

① 漏水部のチェック・処理

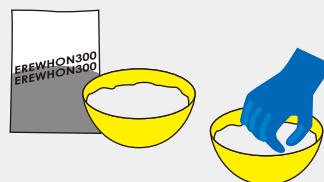
漏水箇所、周囲のジャンカなど不良部分を斫り取る。清掃する。
キレツの状況によりVカットする。



② #300 の水練り

ゴムまり（半切にして使用する）等、弾力のある容器に#300 を入れて、水を加えたらゴム手袋を使用して速やかにこね合わせる。

※注：硬化が早いので、一回で使用できる量を粘土くらいの硬さに混練ります。素手ではなく必ずゴム手袋を使用して下さい。



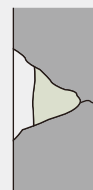
③ 施 工

#300 を速やかに練って丸く形を整えて片手に取り、漏水部分の中心にすり込むように押しつけて、硬化するまで数秒押さえつける。



④ 仕 上 げ

コンクリートの表面に達するまで#300 で埋める。
素早くコテで表面を仕上げる。



パイプ抜き工法

漏水量が多い場所には、漏水箇所（キレツ部分など）をV型にカットしてホース等で水抜きを行い、#300 を施工していく。

配合積算例

#300 1M の止水工法	
1M	1.0 kg
水	300cc
練上り量	0.64 ℓ
積算比重	1.56
1 缶当りの練上り量	12.8 ℓ

#300 (5M・10M) による用途別配合積算例		
用 途	コンクリート補修	部材の仮固定
#300 (5M・10M)	1.0 kg	1.0 kg
水	300cc	350 ～ 400cc
砂	—	0.5 ～ 1.0 kg
積算比重 (#300使用量)	1.56	1.14 ～ 0.92
1 缶当りの練上り量	12.8 ℓ	17.5 ～ 21.8 ℓ

#300 の V カット充填における使用量

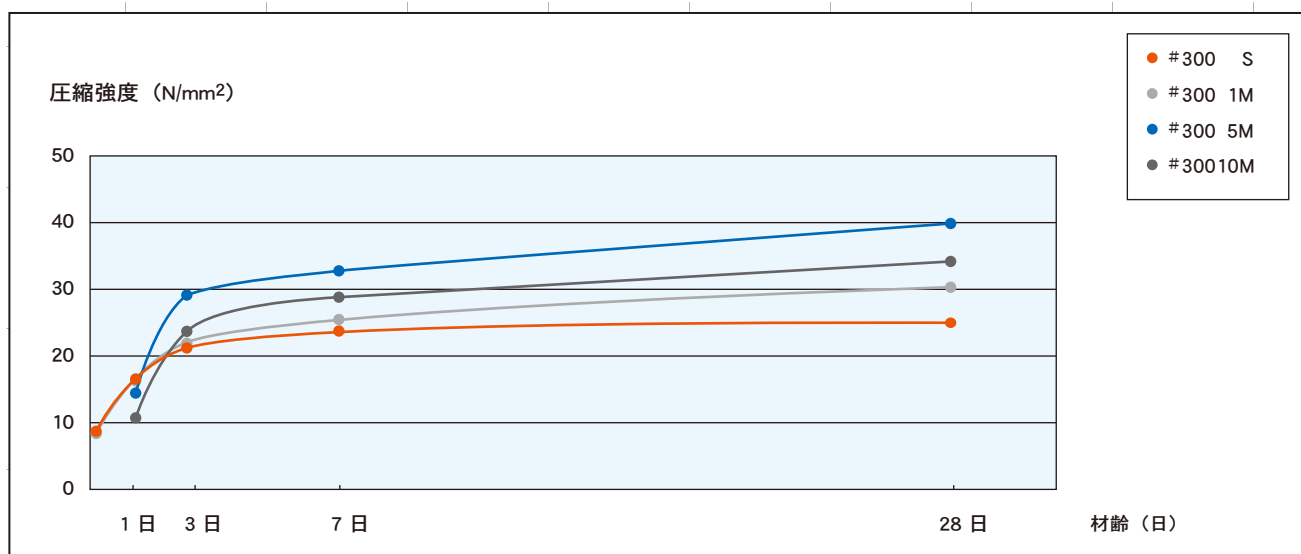
V カットの大きさ		V カット 1m 当りの 容積 (ℓ)	#300 のみで 使用する時の 1 缶当りの伸び	#300 1 kg に砂 0.5 kg 加えて使用した時の 1 缶当りの伸び	#300 1 kg に砂 1 kg 加えて使用した時の 1 缶当りの伸び
幅 (cm)	深さ (cm)				
3	3	0.45	28.44m	38.8m	48.4m
5	5	1.25	10.24m	14.0m	17.4m
10	10	5.00	2.56m	3.5m	4.4m
15	15	11.25	1.14m	1.55m	1.94m

性能

● 強度試験

JIS R 5201 (水量=粉体比 30%) 単位 N/mm²

製品	試験内容	材 齢				
		15 分	1 日	3 日	7 日	28 日
#300 S	圧 縮	9.2	17.8	21.6	23.8	25.1
	曲 げ	2.8	3.5	4.2	5.0	5.8
#300 1M	圧 縮	9.0	17.6	22.0	25.8	30.4
	曲 げ	2.8	3.8	5.2	6.6	7.9
#300 5M	圧 縮	—	14.3	29.5	32.2	40.1
	曲 げ	—	3.4	6.0	8.0	9.2
#300 10M	圧 縮	—	11.0	23.1	29.1	33.5
	曲 げ	—	2.9	5.4	6.8	7.9

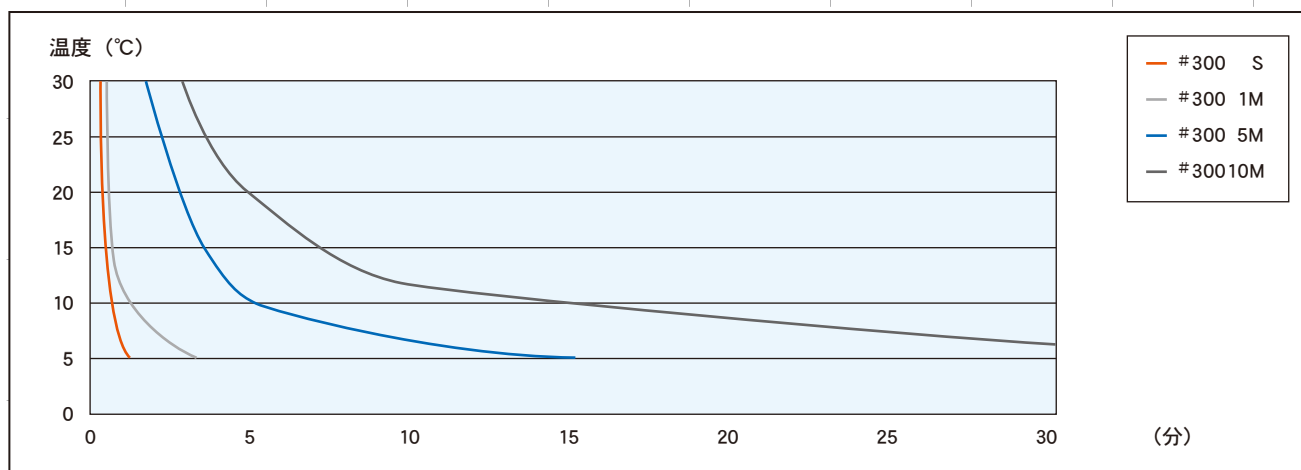


● #300 1M 接着力試験

単位 N/mm²

材 齢 7 日				材 齢 28 日			
1	2	3	平均	1	2	3	平均
1.0	1.2	1.1	1.1	1.3	1.6	1.6	1.5

● 温度と凝結時間の関係



※季節配合に応じた時期に使用した場合の関係です。

● 使用上の注意

- ・ ご使用に際しては MSDS（製品安全データシート）をよく読んで下さい。
- ・ #300 は適切な時間で使用できるよう、出荷時期により配合（季節配合）を調整しています。
適切な期間内（出荷後 3 ヶ月程度が目安）にお使い下さい。
季節配合について、詳しくは当社営業担当または技術開発部までお問い合わせ下さい。
- ・ 練り水は水道水水質同等のものを使用して下さい。不純物が硬化時間等に影響することがあります。
- ・ 使用する時は一度に使いきる量のみを水で練って下さい。
- ・ 作業の際には、防塵マスク、ゴム手袋、保護眼鏡等の適切な保護具を着用して下さい。
- ・ 使用した容器は凝固する前に水で洗い流して下さい。
（ゴムまり等弾力のある容器であれば硬化後でも容易に落とすことができます。）
- ・ 他のセメントやプライマー等は絶対に混ぜて使用しないで下さい。
- ・ 製品は直射日光や湿気を避けて保管して下さい。開封後は密封して、使用期間内にご使用下さい。
一度開封したものは硬化時間が長くなることがあります。
- ・ 水に触れると水酸化カルシウムがアルカリ性（PH12～13）を呈します。
- ・ 眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、炎症を引き起こす場合があります。
- ・ 吸入した場合は、速やかに空気の新鮮な場所に移し、咳等が治まらなければ医療処置を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹸で洗浄して下さい。皮膚刺激または発疹が生じた場合は
医療処置を受けて下さい。
- ・ 眼に入った場合は、直ちに清浄な水で 15 分以上注意深く洗眼した後、医療処置を受けて下さい。
- ・ 飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、口の中を洗浄後、医療処置を受けて下さい。
- ・ 屋内で取り扱う場合は、粉塵を許容濃度以下にするため、排気設備を設置して下さい。
- ・ 作業終了後は必ず洗浄、うがい等を行い、身体の付着物を除去して下さい。
- ・ 廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

● 本資料の技術情報について

本資料の技術情報は、公的機関および当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。
しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。

● 既存下地・施工環境・気候と様々な施工上の問題がありますので、使用の際は当社営業担当へご相談下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン・化成工業株式会社
EREWHON

<http://www.erewhon.co.jp/>

● 本 社 ・ 工 場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1-2-23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
● い わ き 工 場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30-3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
● 大 阪 支 店	〒564-0063	大阪府吹田市江坂町2-12-50	TEL (06) 6388-6585	FAX (06) 6388-6561
● 福 岡 支 店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1-9-10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
● 関 東 ・ 東 支 店	〒340-0055	埼玉県草加市清門町2-4-8-3	TEL (048) 951-1987	FAX (048) 951-1988
● 仙 台 支 店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
● 名 古 屋 支 店	〒463-0048	愛知県名古屋市守山区小幡南3-5-21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
● 札 幌 営 業 所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
● 盛 岡 営 業 所	〒020-0838	岩手県盛岡市津志田中央3-6-11	TEL (019) 681-9531	FAX (019) 681-9532
● 新 潟 営 業 所	〒950-0925	新潟県新潟市中央区弁天橋通3-1-31	TEL (025) 286-6260	FAX (025) 286-6263
● 関 東 ・ 北 営 業 所	〒320-0056	栃木県宇都宮市戸祭2-5-5	TEL (028) 680-6313	FAX (028) 680-6323
● 関 東 ・ 西 営 業 所	〒224-0064	神奈川県横浜市都筑区平台19-24	TEL (045) 306-6200	FAX (045) 949-2015
● 北 陸 営 業 所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2-11-25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
● 神 戸 営 業 所	〒652-0032	兵庫県神戸市兵庫区荒田町3-75-1	TEL (078) 599-6630	FAX (078) 599-6631
● 広 島 営 業 所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2-41-22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
● 北 九 州 営 業 所	〒807-0801	福岡県北九州市八幡西区本城1-19-1	TEL (093) 616-8470	FAX (093) 616-8471
● 熊 本 営 業 所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山2-14-47	TEL 050-3399-7419	FAX (096) 388-6227
● 鹿 児 島 営 業 所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1-51-25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
● ㈱エレホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜1-9-3	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
● ㈱エレホン・技研松山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町1408-1	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230